

グアテマラ通信



青年海外協力隊

シニア海外ボランティア

日系社会青年ボランティア

日系社会シニア・ボランティア

平成26年度第4次隊

氏名：菅野 ひかる

職種：感染症・エイズ対派遣国：グアテマラ共和国

グアテマラの虫問題① サシガメ

わたしの活動は「シャーガス病への対策」が主軸となっています。

「シャーガス病」は中南米地域の風土病で、サシガメという虫が病気を媒介します。治療しなければ、感染から5～20年の期間を経て心臓が大きく膨らみ、やがて死に至る恐ろしい病気です。サシガメは、経済的に貧しい人々が暮らす土壁の家に生息し、人や動物の血を吸って生命を維持しています。

しかしながら問題は、人々がサシガメの危険性をあまり認識しておらず、ゴキブリと同程度にしか捉えていないことです。そのため、職場の同僚とともに集落を訪問しながら、シャーガス病についての知識の普及や家屋内のサシガメ調査などを行っています。



左がサシガメ、右はゴキブリ



シャーガス病啓発のために作成した掲示物

グアテマラの虫問題② 蜂の大群

クリスマスを間近に控えたある日の夕方のことです。

仕事を終えて帰宅し、部屋の扉を開けようとした時、なにか異様な黒いものが視界に入りました。見上げるとそこに蜂の大群が、部屋の壁に巣を作っていたのです。昼食のため帰宅したときにはなかったはずの蜂の巣が、ものすごいスピードで完成しようとしており、その様子に全身がぞわっとしました。

大家さんに相談すると、果敢にも最強の殺虫スプレーで蜂を撃退してくれたので、巣はほうきでそぎ落とし、何事もなく無事に蜂退治を終えたのでした。



部屋の壁に巣をつくる蜂の大群



クリスマスのデコレーション